

資料 6

フィブレート比較

	ベザフィブレート SR	リピディル (フェノフィブレート)
脂質改善作用	TC -15%, TG -46%, HDL-C +43%	TC -17%, TG -48%, HDL-C +36%
糖代謝改善作用	PPAR α ・ δ ・ γ に作用 インスリン抵抗性を改善する 糖尿病発症を 41%抑制	PPAR α のみに作用 糖尿病発症抑制効果の報告なし
尿酸低下作用	なし	尿酸低下作用を有する 「高尿酸血症・痛風の治療ガイドライン (第2版)」 において、フェノフィブレートは、高TG血症と高尿酸血症の 合併 (特に尿酸排泄低下型高尿酸血症の合併) に対して 有効であるとされている (推奨度 A)
肝臓への安全性	肝臓疾患改善の報告あり	①肝機能異常に注意 投与開始後3か月までは検査を毎月、その後は3か月毎 ②肝障害には禁忌
用法	1日2回	1日1回
簡易懸濁・粉砕	SR錠なので簡易懸濁・粉砕不可	簡易懸濁OK・粉砕 (遮光で1か月安定)OK
禁忌	人工透析患者、重篤な腎疾患 血清クレアチニン 2.0mg/dL 以上 過敏症・妊婦	中等度以上の腎機能障害 (血清クレアチニン 2.5mg/dL 以上) 肝障害・胆のう疾患、過敏症・妊婦
薬価	100mg錠 7.7円 200mg錠 9.9円 (1日2回で19.8円)	53.3mg錠 28.4円

ベザフィブレート SR 400mg =リピディル 80mg (ベザフィブレート SR 266mg =リピディル 53.3mg)